

第2回川越市男女共同参画庁内会議（書面会議）についての意見

No.	議事	委員の御意見	事務局の考え方
1	報告事項	<p>(1) 第六次川越市男女共同参画基本計画の推進状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10ページ「令和4年度推進状況 総括」 <p>①表題 「令和4年度推進状況 総括」⇒「和」が重複しています。</p> <p>②本文 「関わらず」は「かかわらず」に修正願います。</p> <p>③本文 「その他においては」を「その他の事業は」に修正願います。</p> <p>④本文 総括の位置づけからデスマス調を改めた方が良く考えます。</p>	御指摘ありがとうございます。修正いたします。
2	報告事項	<p>(1) 第六次川越市男女共同参画基本計画の推進状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別事業の進捗状況の表記方法について 各事業を検索するのが難しかった。主要課題、取組の方向性別に項目が、もう少しわかりやすい表示方法になるよう改善したらどうか。 ・上段の凡例も「表の見方」で表示すればよいのではないか。 	<p>御指摘を受け、個別事業を検索しやすくするために、巻末に索引を設けました。</p> <p>上段の凡例は、12ページ「表の見方」に逐一立ち戻らなくても、「推進状況」と「配慮項目」の評価区分を確認できるように表示しています。</p>
3	報告事項	<p>(1) 第六次川越市男女共同参画基本計画の推進状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・54ページ 事業名を変更願います。 <p>主要課題10 マタニティスクール ⇒プレ・パパママスクール</p>	<p>御指摘のとおり修正しました。</p> <p>なお、計画との齟齬が無いように「計画上の事業名：マタニティスクール」と併記しています。</p>
4	報告事項	<p>(2) 川越市男女共同参画に関する意識調査結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識調査結果（概要版）につきまして、主な調査結果が掲載されていますが、6以外でも、計画の評価指標となっている1の「性別役割分担」など可能な範囲で、前回調査との比較による変化についての記載があると、さらに理解しやすいと思います。 	御指摘のとおり、計画の評価指標である1「性別役割分担」について、前回調査と比較するグラフに変更しました。
5	報告事項	<p>(2) 川越市男女共同参画に関する意識調査結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本編（P20）の評価と書きぶりを変えているが、意図があつてのことだとは思いますが概要版の記載は解りにくいと感ずる。本編のままでよいのではないか。 	第六次川越市男女共同参画基本計画において、固定的性別役割分担意識を否定する人の割合を増加させることを目標としていることから、概要版では「否定する人の割合」に主眼を置いて、「肯定する人」との比較を記載しています。御指摘を踏まえて検討しましたが、グラフを前回調査と比較するものへ変更したことを鑑み、記載の修正は行わないこととしました。

第2回川越市男女共同参画庁内会議（書面会議）についての意見

No.	議事	委員の御意見	事務局の考え方
6	その他	<p>男女共同参画の推進は今後も必要だし、重要であるとは思いますが、女性の権利や地位の確保ばかり強調されているくらいがある。それらに伴う義務の履行や、男性の社会的役割に伴うリスクを、男女平等に伴い今後は女性も負担しなければならなくなることもきちんと周知すべきだと思う。</p> <p>男性が危険な仕事や大変な役割に担っているという背景が、男性優位社会として表れているのであって、単なる男女差別が原因ではない。この点をキチンと踏まえて、対策を講じないと単なる数合わせの男女平等になるだけだし、組織が機能しなくなりかねない。男女平等は結果の平等ではなく、機会の平等であるべきだと思う。</p>	<p>男女共同参画の推進が「数合わせ」であってはならないのは、御賢察のとおりです。</p> <p>一方で「男性が危険な仕事や大変な役割を担っているという背景」に対しては、性別に由来する固定観念によってもたらされた結果ではないかという問題意識を持つことができます。</p> <p>このことから、性別に関係なく就くことができる仕事や役割で、その地位に伴う責任を引き受ける意思と能力を有する女性がいるにもかかわらず、「危険な仕事や大変な役割は、男性の仕事」という固定観念だけを理由に排除されてこなかったか、社会的な再考を促す施策が求められます。</p> <p>女性の権利や地位を確保しようという声は、男女差別を是正するだけでなく、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる柔軟な社会を実現する必要から生じていると整理することも可能です。</p> <p>本件を男女平等の問題だけでなく、男女共同参画の問題としても御検討いただければ幸いです。</p>